

UNISON Balloon-Sat共同開発

芝浦工業大学 芝浦衛星チーム
学部3年 松井一吹

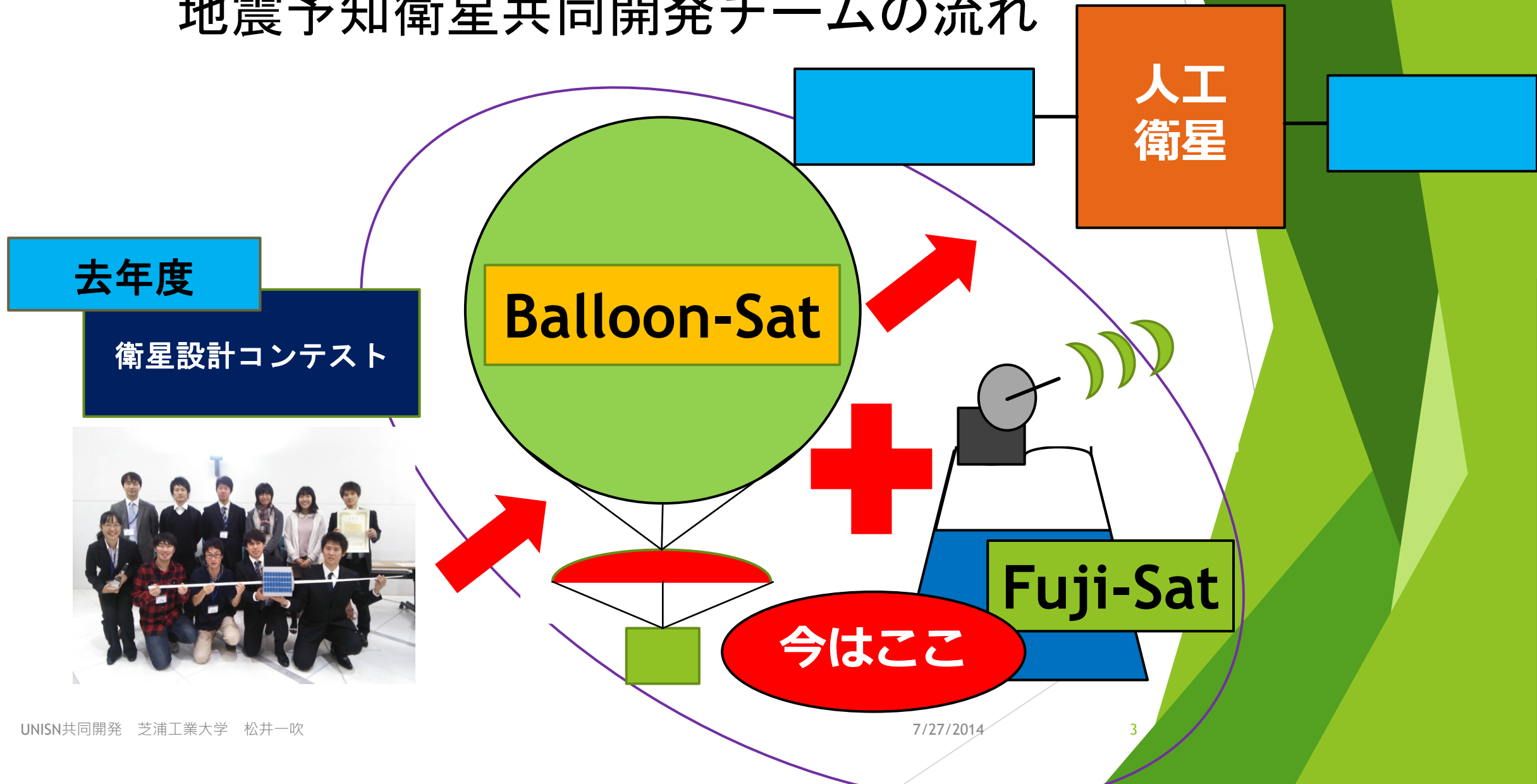
目次

1. 背景
2. 目的
3. プロジェクト内容
4. 期待される効果
5. スケジュール

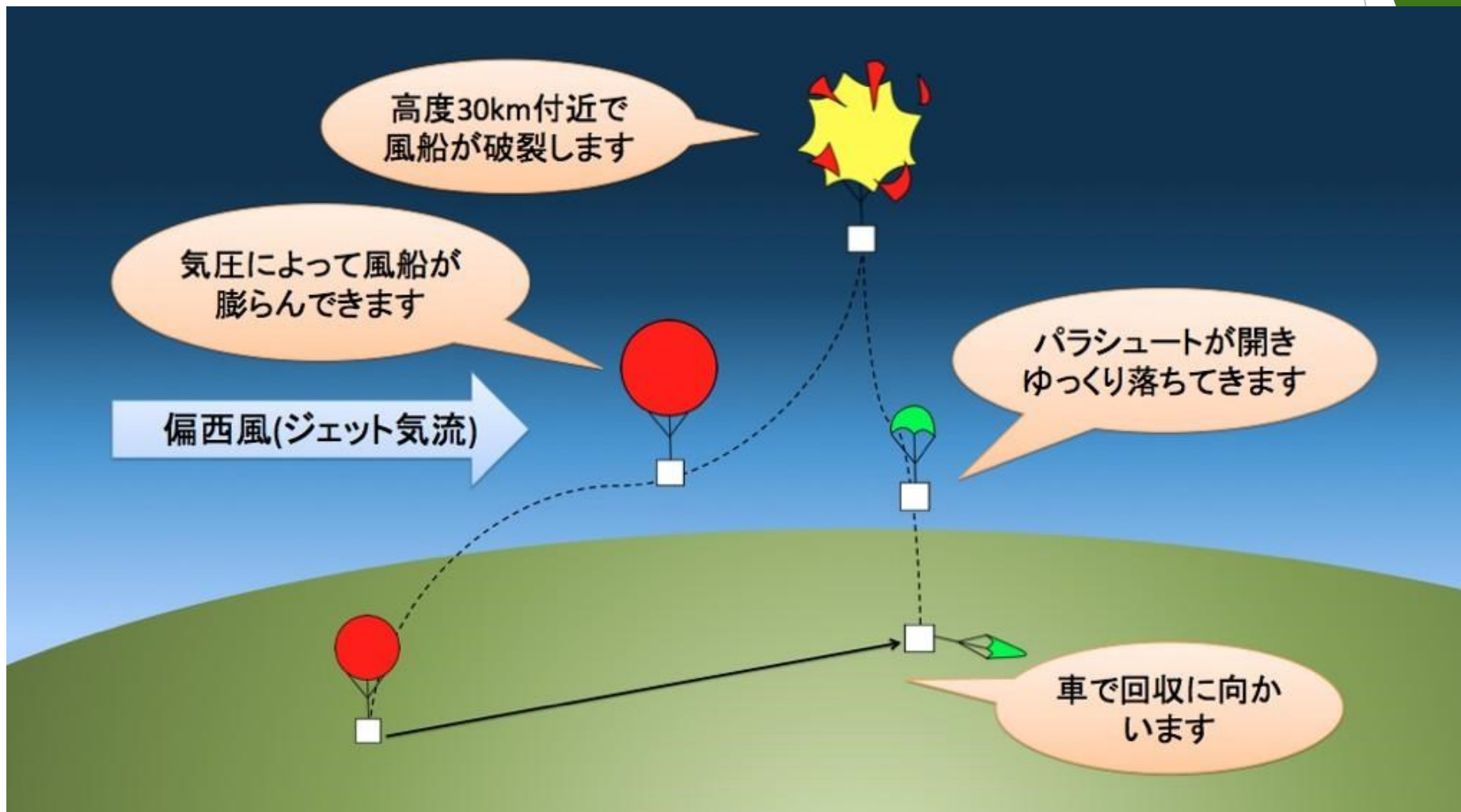


1.背景

UNISON共同開発 地震予知衛星共同開発チームの流れ



「Balloon-Satとは」

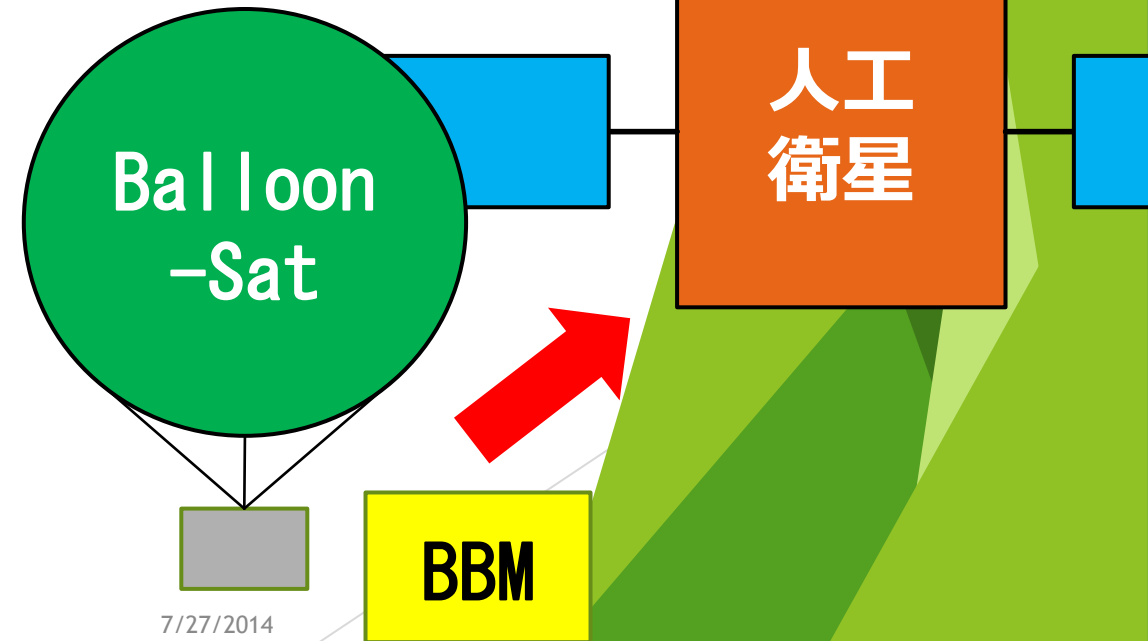


2.目的・内容

「Balloon-Satによる模擬衛星実験」

Balloon-Sat打ち上げの目的

1. 衛星開発の段階的訓練及び、実際の衛星の模擬実験
2. Balloon-Sat開発・運用のマニュアル化
3. 共同開発の情報共有



4.期待される効果

1.新しい実験環境を各団体に提案

「より衛星に近い模擬実験が可能」

UNISONに提供できるBalloon-Satの情報

- 機体設計
- 機体運用
- 使用機器
- 安全対策事例



2.衛星団体の技術力の向上

「新たな衛星設計における実験手段の提案」

Balloon-Satにより団体が得られる利益

- 人工衛星の模擬的なミッション実行及び計測
- 厳しい環境下による構体設計の技術力向上
- コストと製作期間の短さにより試行実験が捗る
- より人工衛星に近い衛星設計の教育段階として使える。
- 人工衛星のため以外の用途にも使用可能

4.期待される効果

2.衛星団体の技術力の向上

「Balloon-Sat製作・運用情報のマニュアル作成」

製作・運用におけるノウハウ

- 打ち上げ場所選定方法
- 航空申請方法
- 安全対策
- 通信機器関連

→Balloon-Satのマニュアルを作成

4.期待される効果

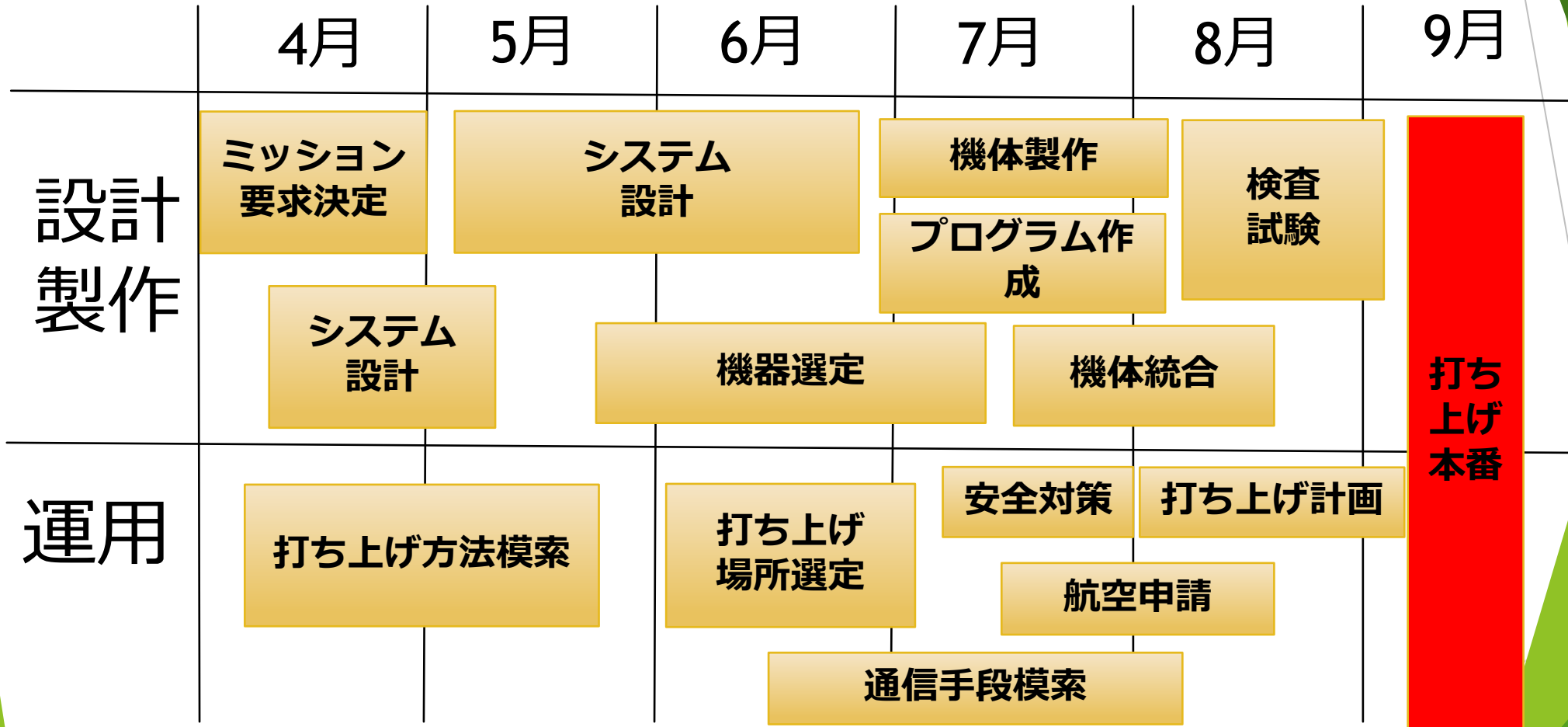
3.UNISONへの共同開発のノウハウの蓄積

「UNISONの共同開発をやりやすくするための情報共有」

UNISONに提供できる共同開発のノウハウ

- 大学間の連絡方法
- 遠隔地における情報の共有方法
- 共同開発の難しいポイントの提示

5.スケジュール



ご清聴ありがとうございました。